

第5回

百済文化国際シンポジウム

聴講
無料

日時：2012年12月15日（土）9：30～18：00

会場：奈良教育大学 管理棟2F 大会議室

日韓両国が長い歴史の中で行ってきた文化交流をそのフィールドにして、特に古代日本と密接な関係にあった百済とその文化に注目して過去から未来へと繋がる日韓の相互理解と友好的な関係の構築と維持について模索し、再認識することを目的に第5回百済文化国際シンポジウムを開催いたします。

■プログラム

午前の部（講演） 9：30～13：00

- ◆ ‘百済武寧王’を通じた東アジア市民交流への夢
公州大学校教授 尹 龍燦
- ◆ 瓦の来た道 -百済から倭へ-
帝塚山大学准教授 清水 昭博
- ◆ 東アジアにおける金銅仏の伝播と観松院菩薩半跏像
大阪大学教授 藤岡 穰



午後の部（研究発表）14：00～18：00

- ◆ 百済文化と科野（しなの） -観松院菩薩半跏像理解のために-
奈良教育大学教授 山岸 公基
- ◆ 蛍光X線分析法を用いた奈良三彩と唐三彩の胎土比較研究
奈良教育大学特任准教授 青木 智史
- ◆ 東国古墳時代における渡来文化の流入と展開
東京学芸大学准教授 日高 慎
- ◆ 日本古代山城についての管見
公州大学校教授 徐 程錫
- ◆ 武寧王陵出土遺物に見られる生成の図像
奈良教育大学大学院生 宮武 杏名
- ◆ 古代における宮都のトイレ -藤原京・平城京と王宮里-
奈良教育大学大学院生 辻本 知里
- ◆ 顔料の環境による劣化に関する保存科学的研究 -韓国(扶餘)と日本(東京)との比較検討-
東京学芸大学大学院生 朴 嘉瑛



■ 申込方法・期間

次のいずれかの方法で、「①氏名②所属③電話番号」をご記入（自由様式）の上、お申し込みください。

※お申し込み後、こちらから受講許可書等の送付はございません。

当日、受付にてお名前をおっしゃってください。

※件名に「百済文化国際シンポジウム申込み」と記入願います。

※会場に空きがあれば、当日申込みも可能です。

・はがき：〒630-8528 奈良市高畑町
奈良教育大学総務企画課
（国際交流・地域連携担当）

・FAX：0742-27-9141

・e-mail：soumuka@nara-edu.ac.jp

☆締切り：12月12日（水）必着

■ 定員 100名（先着順）

■ 交通・アクセス

近鉄奈良駅・JR奈良駅より市内循環バスで高畑町（奈良教育大学）下車

※来場者用駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

■ その他 講演等は、日本語・韓国語で行われます（逐次通訳）

● 主催 奈良教育大学 公州大学校（韓国）

● 共催 東京学芸大学

● 後援(予定) 奈良県教育委員会 奈良市教育委員会 奈良新聞社

◇お問合せ：奈良教育大学総務企画課（国際交流・地域連携担当）

・TEL：0742-27-9108 ・FAX：0742-27-9141 ・e-mail：soumuka@nara-edu.ac.jp